令和元年度第３回千葉市入札適正化・苦情検討委員会　議事録

１　日　時　　令和２年２月１２日（水）　午後１時３０分～午後２時４０分

２　場　所　　契約課工事入札室（本庁舎５階）

３　出席者　　（委　員）

渡部委員長、大川委員、大久保委員、坂根委員、望月委員

（事務局）

宮本資産経営部長、立石契約課長、小林技術管理課長、久保契約課長補佐、

福島契約第一班主査、武元技術調整班主査

４　議　題

（１）入札・契約制度について

（２）審議事項

各入札方式における契約手続の審議（６件）

５　議事の概要

（１）議事録署名人について

渡部委員長の指名により、大久保委員と望月委員に決定。

（２）入札・契約制度について

事務局から、令和元年度の入札・契約制度及び入札実施状況について説明後、質疑応答。

（３）各入札方式における契約手続の審議について

坂根委員から、抽出工事６件の抽出理由を説明。

１　制限付一般競争入札「(主) 穴川天戸線（亥鼻橋）下部工工事（３１－１)」

２　制限付一般競争入札「千葉市立天戸中学校内外部改修工事（その２)」

３　制限付一般競争入札「土気町１７号線（下大和田工区）道路改良工事（３１－２)」

４　指 名 競 争 入 札「下水道排水施設工事（誉田３１－１工区)」

５　指 名 競 争 入 札「中央浄化センター水処理電気設備工事」

６　随　　意　　契　　約「千葉市立海浜病院熱源改修工事（その１)」

事務局から入札方式ごとに各工事を説明後、委員会で審議。

（４）令和元年度千葉市入札適正化・苦情検討委員会の審議について

令和元年度の審議結果を報告。

（５）次回の審議対象抽出委員について

渡部委員長の指名により、望月委員に決定。

６　会議経過（発言の要約）

（１）入札・契約制度について

○渡 部 委 員 長　　早速ですが、令和元年度第３回千葉市入札適正化・苦情検討委員会の議題に入ります。事務局から、入札・契約制度について、説明をお願いします。

○久保契約課長補佐　（入札・契約制度について説明）

質疑・応答

○渡 部 委 員 長　　ただいまの説明について、何かご質問等ございますか。
　無いようですので、次に議題となっています各入札方式における契約手続の審議に入らせていただきます。

（２）各入札方式における契約手続の審議について

○渡 部 委 員 長　　今回の案件の抽出者であります坂根委員に、抽出理由の説明をしていただきます。
　それでは案件１について、説明よろしくお願いします。

○坂　根　委　員　　お手元の資料２を使って説明させていただきます。
　１ページ目をご覧ください。
　今回は、令和元年１０月１日から１２月３１日までに執行した一般競争入札８８件、指名競争入札３１件、随意契約２件を合わせた１２１件の契約案件の中から、審議対象案件として一般競争入札から３件、指名競争入札から２件、随意契約１件の計６件抽出しました。
　発注工事の特徴については、次の２ページ目に示されているとおりでした。
　これらの発注工事の特徴を踏まえ、４ページ以降に示されている発注工事の一覧の中から抽出しております。
　それでは、３ページ目をご覧ください。
　工事名「(主) 穴川天戸線（亥鼻橋）下部工工事（３１－１)」は、総合評価落札方式(簡易型)による制限付一般競争入札方式で執行した案件で、申請者少数の１者入札であり、大手対象案件であったため､抽出しました。

○渡 部 委 員 長　　それでは、事務局から案件１について、説明をお願いします。

○久保契約課長補佐　（案件１についての発注経過を説明）

質疑・応答

○渡 部 委 員 長　　案件１について、何かご質問等ございますか。

○坂　根　委　員　　大手対象案件とはどのような要件なのか。また、この案件を大手対象案件とした理由について、教えてください。

○立 石 契 約 課 長　　工事内容が難易度の高い技術力又は高い施工管理能力が必要である建設工事と判断した場合、大手案件として、総合評定値を設定した資格要件としています。

本案件については、河川内の一部を締め切った上で、水位以下で工事を行う必要があり、また上空には高圧線が通っているため、クレーン作業時は接触しないよう適切な離隔を保持する必要があるため、高度な安全管理及び施工管理が必要な施工条件である大手案件としました。

○坂　根　委　員　　今年度の大手対象案件発注の実績は何件ですか。

○立 石 契 約 課 長　　１２月末現在で、発注件数２９件でした。

内訳としては、土木８件、建築２件、電気８件、機械１０件、鋼構造１件となります。

○坂　根　委　員　　申請者が２者と少ないが、どの程度の数を想定していたのですか。

○立 石 契 約 課 長　　当時の想定者数としては準市内業者３５者を想定していました。

○坂　根　委　員　　今回の申請者が少ないことについて、どのように評価しているのですか。

○立 石 契 約 課 長　　想定していた業者数は３５者おりましたが、参加申請期間の９月９日から９月１３日までの間に台風１５号の被害があり、災害対応に作業員を要したことで、人員を確保できなかったことから、申請者数が少なかったものと考えております。

○渡 部 委 員 長　　他に何かご質問等ございますか。

無いようですので、続きまして案件２について、坂根委員から抽出理由の説明をお願いします。

○坂　根　委　員　　それでは、お手元の資料２の３ページ目をご覧ください。

工事名「千葉市立天戸中学校内外部改修工事（その２）」は、総合評価落札方式（特別簡易型）による制限付一般競争入札方式で執行した案件で、低入札調査対象があり、入札金額が高い業者が低い業者を逆転した案件であるため、抽出しました。

○渡 部 委 員 長　　それでは、事務局から案件２について、説明をお願いします。

○久保契約課長補佐　（案件２についての発注経過を説明）

質疑・応答

○渡 部 委 員 長　　案件２について、何かご質問等ございますか。

○坂　根　委　員　　入札金額が高い業者が逆転しているが、その理由を教えてください。

○立 石 契 約 課 長　　総合評価で評価値が上回ったためです。主な評価項目として「工事成績評価点実績」「品質確保への取組実績」「災害活動ボランティア活動」「技術者工事成績評価点実績」「安全活動への取組状況」の項目が高かったため、逆転しております。

○坂　根　委　員　　逆転するケースはどの程度の割合で発生しておりますか。

○立 石 契 約 課 長　　令和元年度１２月末現在において、総合評価落札方式の件数が１４０件であり、逆転がおきたケースは２２件。全体の１５％程度になります。

○坂　根　委　員　　総合評価落札方式とすることで、１５％の逆転がおきておりますが、総合評価落札方式とすることで、優れた業者が選定できている、と言えるのかということについての評価を教えてください。

○小林技術管理課長　　総合落札評価方式を適用しないで発注した工事と比較して、完成検査における工事成績評定点が高く、品質向上に寄与していると考えています。
　具体的には、平成２８年度から平成３０年度の直近３か年の工事成績評定点で、総合評価対象工事が７９．４点で、対象外工事の７６．８点に対し、２．６ポイント上昇しています。
　今回の特別簡易型だけでみても、２．５ポイントほど上昇しております。

○渡 部 委 員 長　　他に何かご質問等ございますか。
　無いようですので、続きまして案件３について、坂根委員から抽出理由の説明をお願いします。

○坂　根　委　員　　それでは、お手元の資料２の３ページ目をご覧ください。
　工事名「土気町１７号線（下大和田工区）道路改良工事（３１－２）」は、再発注で、制限付一般競争入札方式で執行した案件で、申請者多数であり、落札率の高い案件であるため、抽出しました。

○渡 部 委 員 長　　それでは、事務局から案件３について、説明をお願いします。

○久保契約課長補佐　（案件３についての発注経過を説明）

質疑・応答

○渡 部 委 員 長　　案件３について、何かご質問等ございますか。

○坂　根　委　員　　１回目が不調になった理由について教えてください。

○立 石 契 約 課 長　　１者は低入価格調査書類未提出のため、他の応札があった３者は、配置予定技術者が他の工事に配置されていたため。
　現在、本市では入札時に指名できる配置技術者が１名となっており、他工事で専任配置が決まってしまった場合、無効となります。

○坂　根　委　員　　２回目に予定価格を下げている理由について教えてください。

○立 石 契 約 課 長　　開札日が１１月中旬となり、１１月下旬から年度内に工事を完成させなければならないため、工事延長を短くし、舗装面積等を減らすことで年度内に終わる工期となるよう、設計を見直しました。そのため、予定価格が減額となっております。

○坂　根　委　員　　再発注で申請者が２２者だったにもかかわらず、辞退と未入札が計１７者も出た理由について、どのようにお考えでしょうか。

○立 石 契 約 課 長　　参加申請期間の１０月１５日から１０月２５日までの間に台風１９号の被害があり、入札期間の１０月２９日から１１月１１日までの間に大雨被害があったため、災害対応を優先することによる、応札の見送りが行われたと考えられます。

○坂　根　委　員　　先ほどの案件と同じ理由でしょうか。

○立 石 契 約 課 長　　そうなります。建設業協会と業者が協定を結んでおり、災害が起きた場合、そちらを優先することとなっております。

○渡 部 委 員 長　　１回目の工事内容から延長距離を短くし、舗装面積等を減らしたということですが、年度内に竣工させるために、工期を勘案し、工事延長を短くするという事は頻繁にあるのでしょうか。

○立 石 契 約 課 長　　工期を勘案しての工事内容見直しはあります。

○渡 部 委 員 長　　単価等は変わらず、工期が短くなった分、予定価格を減額したということでよろしいでしょうか。

○立 石 契 約 課 長　　そうです。

○渡 部 委 員 長　　他に何かご質問等ございますか。
　無いようですので、続きまして案件４について、坂根委員から抽出理由の説明をお願いします。

○坂　根　委　員　　それでは、お手元の資料２の３ページ目をご覧ください。
　工事名「下水道排水施設工事（誉田３１－１工区）」は、再発注で、予定価格事前公表の指名競争入札で執行し、落札率の高い案件であるため、抽出しました。

○渡 部 委 員 長　　それでは、事務局から案件４について、説明をお願いします。

○久保契約課長補佐　（案件４についての発注経過を説明）

質疑・応答

○渡 部 委 員 長　　案件４について、何かご質問等ございますか。

○坂　根　委　員　　特別簡易型ではなく簡易型で発注している理由を教えてください。

○小林技術管理課長　　本工事箇所は、誉田小学校に隣接しており、学童等への安全管理について配慮する必要があるため、簡易型で提案・発注しました。

○坂　根　委　員　　１回目で再度入札を行い辞退されている理由を教えてください。

○立 石 契 約 課 長　　配置予定技術者を先に落札した他案件に配置することとしたためです。

○坂　根　委　員　　２回目で予定価格を増額している理由について教えてください。

○立 石 契 約 課 長　　施工内容等の見直しはなく、７月から９月への単価改正に伴う増額です。

○渡 部 委 員 長　　他に何かご質問等ございますか。
　無いようですので、続きまして案件５について、坂根委員から抽出理由の説明をお願いします。

○坂　根　委　員　　それでは、お手元の資料２の３ページ目をご覧ください。
　工事名「中央浄化センター水処理電気設備工事」は、再発注で、予定価格事前公表の指名競争入札で執行し、落札率の高い案件であり、大手対象案件であるため、抽出しました。

○渡 部 委 員 長　　それでは、事務局から案件５について、説明をお願いします。

○久保契約課長補佐　（案件５についての発注経過を説明）

質疑・応答

○渡 部 委 員 長　　案件５について、何かご質問等ございますか。

○坂　根　委　員　　本案件を大手案件とした理由について教えてください。

○立 石 契 約 課 長　　施設の特性上、稼働させながら改修工事をする必要があるため大手案件といたしました。

○坂　根　委　員　　地元企業への技術移転を目的に共同企業体施工としているが、他にも多くの工事がある中で、本工事を技術移転対象として選定した理由を教えてください。

○立 石 契 約 課 長　　『千葉市特定建設工事共同企業体取扱要綱』に基づき、設計金額が１億円以上の電気工事を対象としているためです。

○坂　根　委　員　　特殊な工事だからＪＶとしている訳ではないのですか。

○立 石 契 約 課 長　　金額での設定としております。

○坂　根　委　員　　２回目を指名競争入札に切り替えて予定価格を増額のうえ 34 者を指名したにもかかわらず、応札は２者と少なかった。このような状況について、どのように評価しているのですか。

○立 石 契 約 課 長　　辞退した業者の理由を確認したところ、会社都合によるためが５者、技術者の確保が困難なためが１８者、その他の理由が５者となっており、技術者の確保が困難であるという理由が大半を占めています。

本工事は、稼働させながらの特殊な工事となるので、相当な技術力のある技術者でないと難しいという事が理由に挙げられます。

○大久保委員　　１回目の技術提案がなかったため入札中止とは、どのような状況ですか。

○立 石 契 約 課 長　　参加申請はあったのですが、何らかの理由で技術提案書の提出がなかったため、入札中止となりました。

○渡 部 委 員 長　　他に何かご質問等ございますか。

無いようですので、続きまして案件６について、坂根委員から抽出理由の説明をお願いします。

○坂　根　委　員　　それでは、お手元の資料２の３ページ目をご覧ください。

工事名「千葉市立海浜病院熱源改修工事（その１）」は、一者随契で執行し、落札率の高い案件であるため、抽出しました。

○渡 部 委 員 長　　それでは、事務局から案件６について、説明をお願いします。

○久保契約課長補佐　（案件６についての発注経過を説明）

質疑・応答

○渡 部 委 員 長　　案件６について、何かご質問等ございますか。

○坂　根　委　員　　工事概要には熱源設備の改修内容は記載されているが、随意契約理由書では工事概要に記載のない中央監視設備の改修が随意契約の主たる理由とされており、随契の必要性についての説明に不十分な点があるように思われる。改めて本工事における随意契約の必要性について具体的に説明をお願いします。

○立 石 契 約 課 長　本工事は熱源設備の改修が主たる工事であり、中央監視設備においては既存監視盤との接続など熱源設備に付随した小規模な内容であることから、工事概要には記載しておりません。

熱源改修の切替工事において、院内全域の空調・給湯・蒸気滅菌機能を一時的に喪失することになり、継続的かつ健全な医療行為の提供を考慮すると、短時間での復旧が必要不可欠であることから随意契約としたものです。

○坂　根　委　員　随意契約の理由の中で、中央監視設備の改修について書かれていたので、中央監視システムを工事するものだと思ったのですが違うのでしょうか。

○立 石 契 約 課 長　小規模な改修工事なので、メインの工事概要として提示する程の工事内容、金額ではないため記載をしていません。

○坂　根　委　員　ただ今のご説明で随意契約の必要性はわかりました。合理的な理由であり、随意契約は適切だと思います。

○渡 部 委 員 長　坂根委員から意見があったように、随契理由に記載があるのに、工事概要に記載がないことは、誤解を招きかねないので、今後については留意された方が良いと考えられます。

○立 石 契 約 課 長　わかりました。

○渡 部 委 員 長　他に何かご質問等ございますか。

無いようでしたら、以上で各入札方式における契約手続の審議を終わらせて頂きます。

（入札制度に対する意見について）

○渡 部 委 員 長　最後になりますが、私ども当委員会の１年間のまとめとして、事前に各委員と検討しました意見をとりまとめましたので、事務局から読み上げてください。

○立 石 契 約 課 長　本委員会は、令和元年度発注案件の中から各委員が抽出した案件２２件について審議を行い、入札及び契約事務が適正に処理されていることを承認した。

本委員会の審議内容を踏まえ、千葉市が入札及び契約制度の改善に積極的に取り組んでいることは評価できる。しかしながら、昨今の入札状況を見ると、不調となる割合は増加の傾向にある。原材料費・人件費の高騰や、技術者の高齢化等による人材不足など、入札不調の要因は様々なものが考えられるが、社会経済情勢の変化に対応するために必要な対策を検討されたい。

また、現在試行実施中である入札参加資格要件における「地域要件の細分化」及び「専門業者育成のための入札制度」については、一定の試行期間を経過したと考えられることから、検証結果を踏まえ、方向性を検討されたい。

○渡 部 委 員 長　ただいま読み上げていただきました意見を委員会からの意見として報告することに、ご異議はございませんでしょうか。

○各　委　員　（異議なし）

○渡 部 委 員 長　ご異議はございませんでしたので、当意見を令和元年度の審議結果として報告させていただきます。

○宮本資産経営部長　閉会にあたり一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中、長時間にわたり慎重な審議を賜りまして、誠にありがとうございました。

また、３回にわたり本委員会でご審議をいただいた案件について、適正に処理されているとの審議結果と貴重なご意見をいただきました。

渡部委員長はじめ委員の皆様におかれましては、当委員会でご審議いただいたことに対しまして、改めてお礼申しあげます。

審議結果を踏まえたご意見等を参考に、時代に適応したより良い入札制度を確立することを目的として、取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

簡単ではございますが、閉会にあたりましてのご挨拶とさせていただき

ます。

○立 石 契 約 課 長　　本日は長時間にわたり慎重な審議をありがとうございました。

いただきましたご意見は、後日、市長に報告いたします。

次回は、令和２年８月に開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

以　上

令和元年度第３回千葉市入札適正化・苦情検討委員会議事録署名人

委　　員　　㊞

委　　員　　㊞

問い合わせ先　千葉市財政局資産経営部契約課
ＴＥＬ　０４３（２４５）５０８８
ＦＡＸ　０４３（２４５）５５３６